

本リリースは、米国 Workday Inc.が 2020 年 5 月 27 日(現地時間)に配信した英文リリースに基づき作成した日本語抄訳です。その内容および解釈については、英文が優先されます



2020 年 5 月 29 日

報道関係各位

Workday, Inc.

## Microsoft と Workday が戦略的提携を発表、次世代のプランニングを加速

*Workday Adaptive Planning を Microsoft Azure Cloud 上で実行可能に  
Workday on Microsoft Teams、Microsoft Azure Active Directory との連携強化*

[2020 年 5 月 27 日(現地時間)- 米国発] – [Microsoft](#)(本社: 米国ワシントン州レドモンド、NASDAQ: MSFT、以下 Microsoft)と [Workday Inc.](#)(本社: 米国カリフォルニア州プレザントン、NASDAQ: WDAY、以下 Workday)は米国時間 5 月 27 日、クラウドでのエンタープライズプランニングに重点を置き、日常業務の最適化向上を図る業務ソリューション拡大へ向けた戦略的提携を発表しました。この提携を通し、「Workday Adaptive Planning」を「Microsoft Azure」のクラウド上で実行できるようになります。Microsoft のグローバル財務部門でも、プランニング、予算編成、予測に Workday Adaptive Planning を導入し、意思決定の加速を狙います。

このほか、Workday のアプリケーションと「Microsoft Teams」、「Azure Active Directory」の新たな連携も発表されました。この連携で、日常業務の簡素化、共同作業の促進、生産性向上、セキュリティ強化を図ることができま

### 次の時代に備えるプランニング

変化を続けるビジネス環境に企業各社が対応、適応を進める中、リアルタイムのプランニング機能に対するニーズも高まりを見せています。あらゆる事業分野において確固たる情報に基づいた意思決定を迅速に行うには、継続的なプランニングのプロセスが必要です。Workday Adaptive Planning はデータ、人、計画を一元管理できる現代的なクラウド上のプラットフォームで、財務、人事、販売部門や各種職能部門の管理者等、さまざまなアクセスが可能です。クラウドをベースにプランニングを行う需要の拡大に対し、Azure への Workday Adaptive Planning の追加は、利用する側にとって柔軟性の向上につながります。

Workday Adaptive Planning との連携で、Azure の世界にプランニング、アナリティクス、レポートの主要先進ソリューションが大々的にもたらされることとなります。Workday 内のデータのスライシングとダイシングを行うパワーユーザーは、Azure のエンタープライズ級のセキュリティとグローバルな展開に、ロバストなモデル、複数のインスタンス、ほぼ無限の次元への対応を安心して任せることができます。

### Microsoft と Workday のさらなる連携強化

今回、Microsoft と Workday のアプリケーション間のアクセス、共同作業、セキュリティの推進に焦点を当てた、さらなる連携とサポートに関する発表もありました。両社のアプリケーション間を切り替えながら作業を行うユー

ザーも多いため、今回発表された新しい連携で、よりコネクテッドで、直感的な作業環境とスムーズなアクセスが実現することになります。

- Microsoft Teams と Workday Financial Management、Workday Human Capital Management (HCM) の連携により、Teams 内から Workday にアクセスし、経費精算、随時フィードバック、従業員検索、休暇申請等の日常業務が簡単に実行できます。従業員も管理職も、自然言語処理を活用したチャットボット「Workday Assistant」に質問して作業手順や業務プロセスの開始を支援してもらえるため、シームレスな連携の中で日常業務をより早く、効率的に遂行できます。[詳しくはこちらをご参照ください。](#)
- Microsoft Azure Active Directory と Workday の各種アプリケーションの連携により、エンタープライズデータやアプリケーションへのアクセスもシングルサインオンで簡単、セキュアに。ID のライフサイクルと権限の設定をエンドツーエンドで確実に実行するため、プライバシーとセキュリティの管理も向上します。この新しい連携は人事、IT のプロセス合理化にもつながるほか、リアルタイムのプロビジョニング解除、従業員の出向や転籍、海外との人事異動等の新しいシナリオにも対応します。

### 関係者のコメント

Workday の副会長、Tom Bogan は次のように述べています。「急速に変化する環境の中で企業がオフィス勤務再開、サプライチェーンの再構築、場合によっては事業の見直しにも取り組む今、かつてないほどプランニングに注目が集まっています。クラウドでの本格的なプランニングと、共同作業を推進する連携強化をもたらす今回のパートナーシップ提携は、最も変化の激しい環境においても企業が従業員の可能性を解き放つことを助けるという Workday の目的を改めて明確に示すものです。」

Microsoft One Commercial Partner のコーポレートバイスプレジデント、Gavriella Schuster は次のように述べています。「Microsoft は、世界中のすべての個人と企業に対し生産性と業績を安全に引き上げていくツールや知見を提供する新しい方法がないか、常にイノベーションを重ねていくことに注力しています。今回の Workday とのパートナーシップを通して、両社のお客様がより多くのことをできるように、Workday の人や財務に関する知見を Microsoft Teams のクラウドの生産性、Azure のクラウドプラットフォームと結びつける新しいソリューションを提供します。」

### 提供開始の時期について

Workday for Microsoft Teams は、Workday HCM および Workday Financial Management で本日から利用できます。Microsoft Azure Active Directory と Workday Adaptive Planning on Azure は来年提供される予定です。

### Workday, Inc. (米国ワークデイ) について

[米国ワークデイ](#)はクラウド型財務・人事用エンタープライズ アプリケーションプロバイダです。2005 年に設立された米国ワークデイは、世界最大規模の企業、教育機関、官公庁などの組織で使用されることを念頭に設計されたヒューマンキャピタルマネジメント (HCM)、ファイナンシャルマネジメント、ビジネスプランニング、および分析用アプリケーションを提供しており、中規模企業からフォーチュン 50 社にランクインする大企業まで幅広い組織が導入しています。

米国ワークデイ(英語): <http://www.workday.com/>

ワークデイ(日本語): <http://www.workday.com/jp/>

## Microsoft について

Microsoft (Nasdaq “MSFT” @microsoft) は、インテリジェントクラウドとインテリジェントエッジの時代のデジタルトランスフォーメーションを可能にします。同社は、地球上のすべての個人と組織がより多くのことを達成できるようにすることを使命としています。

### 将来の見通しに関する記述について

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。とりわけ、予測された業績や Workday 製品の利益に関する記述もこれに該当します。「思われる」、「可能性がある」、「予定している」、「推定する」、「今後」、「予想する」、「意図する」、「期待する」、「するため」、「計画」、「考案」などの文言や同様の表現は、将来の見通しに関する記述を示しています。これらの将来見通しに関する記述はリスク、不確定要素、仮定的見通しの対象となります。リスクが実際に発生した場合、また予測が誤りであると証明された場合、将来見通しに関する記述で黙示的に示された業績は、Workday の実際の業績と著しく異なる可能性があります。リスクには、これに限りませんが、米国証券取引委員会 (SEC) への提出書類に記載されたリスクが含まれており、2020 年 1 月 31 日を末日とする Form 10-Q (四半期報告書)、今後適宜提出する報告書が該当し、実際の業績が予測と異なる場合があります。Workday は本リリースを公表した後、そのような将来見通しに関する記述の更新する義務を負いません。また現在更新する意図もありません。

本書類、また Workday のウェブサイトやプレスリリース、パブリックステートメントに記載された、未リリースで現在利用不可能なサービス、特徴、機能、向上についての説明は、今後 Workday により予告無く変更される可能性があり、計画どおりに提供されない、または提供されない場合があります。Workday のサービス購入を検討されるお客様は、現在利用可能なサービス、特徴、機能に基づいて購入をご判断ください。

© 2020.Workday, Inc. All rights reserved. Workday と Workday のロゴは、Workday, Inc. の登録商標です。